

(庭園検討部会からのお知らせ)

1、北側の庭園整備を進める前に（詳細2～3頁）

一般に北側庭園は裸地＋中低木となっていますが、雑草が生えますので**3回/年除草作業**を行っています。作業内容は**電動草刈り機**による刈込と**除草剤散布**です。皆様が植えたと思われる**草花**がかなりありますが、そこは**作業外地域**としています。

どなたが植えたかわからないようになっており、また、種で自然と増殖広がっているところもあります。整理するのか維持するのか、あるいは維持するならどのような仕組みで維持するのか、検討が必要です。

また、庭園内庭園のような形で石やブロックで囲ったところもありますが、散乱した石もあります。石は刈込作業の邪魔になりますので、整理したいと考えます。

その第1歩として、草花の内**“ハラン”**（汚く庭園を乱しています）、**“石”**、**“個人で置いてあると思われるもの”**を整理したいと考えます。詳細を2～3頁に示します。ご協力のほどお願いします。

2、6号棟クスノキの取り扱いについて（詳細4ページ）

高木は存在感が大きく、整理することには抵抗感がつきものです。6号棟北側に立派なクスノキがありますが、いずれ整理が必要になります。これを題材に管理組合として留意すべき高木管理の問題を考えます。

(改善事例)

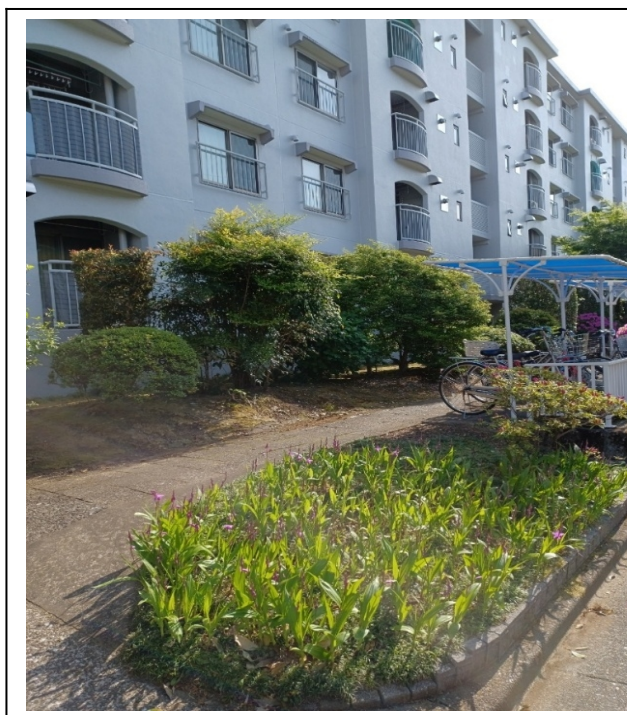


4号棟南側庭園の東側駐車場前です。
ここはツツジの外にキョウチクトウが植わっていたところでした。
キョウチクトウを整理して伐根し芝を植えました。
管理コストが下がっただけではなく、駐車車両にとっても風で木が当たる心配がなくなりました。

草花の管理について

草花は管理組合として管理はしていません。しかし、現に相当数の草花が植えられています。どなたが植えたのか、あるいはどのように現に手入れしているのか、ほとんど分からない状態になっています。

過去の経緯から除草剤を撒くことは遠慮していますので、いわば管理者不在の庭園部分です。下に4例示します。



その第1歩として その整理に着手したいと考



えます。（9月を準備期間として10月から作業します）

- （1）草花の内“ハラン”は状態が悪く、根も張っていますので業者に依頼して除去します。（全部で12か所あります）
- （2）石は置き場所を作りますので、できる範囲で集めて頂けると助かります（9月）。残った石（埋め込まれた石やブロックも含め）業者に依頼して整理します。
- （3）鉢・マット・柵・支柱など私物と思われるものもありますが、9月中にはお持ち帰り下さい。10月にはお断りしないで整理します。

下に例示します。



6号棟

クスノキを考える。

右の写真は6号棟のクスノキです。樹形も美しくグリーンヒルを代表する高木であるかもしれませんが、駐輪場の横の狭いスペースに植えられていて根がはみ出しそうになっています。

建設者あるいは組合で植えたものではなく、多分創業時どなたかが、駐輪場横に緑の飾りとして植えた木であろうと思われます。

50年経ち、根が張り建物側の通路は改修し、出入り通路にはヒビが入っています。市道側も雨水溝を越して地下にははっているものと思われます。

(建物側はなお、排水管への影響も心配されます)

樹木診断結果はA判定ですから後20年程度は持ちそうで、整理するには勇気が要ります。

3年に1回剪定していますが、その費用は44千円/回で、最も費用が掛かる木です。また、切断整理する費用は40万円程度掛かります。

気軽に数千円で植えた樹木が(今後のことや根の処理まで含めると)100万円~150万円程度の費用を産んでいるのです。

この木をいつまで維持するのかという問題もありますが、同じようなところにある高木(ケヤキ・サクラ・モクレン・イチョウ・モミジ・ソロ)なども多かれ少なかれ同じような問題を抱えています。

さらに将来同様な問題を起こす可能性がある樹木もあります。

左は17号棟駐輪場横、ここは第一次庭園整備時に植樹したところですが、キンモクセイに並列してシラカシが植えられています。

右は11号棟、ナツメとヒノキが植えられています。内庭の高木はどなたかが植えた木ですが20本を超えます。排水路や建物保全の観点からも早期に整理が必要です。

